シオノギ製薬

2012 年 7 月 10 日

各　　位

会 社 名　塩 野 義 製 薬 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　手代木　功
（コード番号　4507　東証・大証第一部）
問合せ先　広　報　部　長　高木　浩樹
TEL　（06）6202－2161

InterMune, Inc. に対する訴訟の提起について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、InterMune, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下、IM 社）に対して、ロイヤリティーの支払いを求める訴訟をサンフランシスコ所在の連邦地方裁判所に提起しましたので、お知らせいたします。IM 社は、EU における ESBRIET®（pirfenidone に対する IM 社の商品名）の承認取得および販売に関連して、臨床試験データの交換に関する契約（「データ交換契約」）に基くロイヤリティーの支払いを拒絶していることから、今般、当社が契約の履行を求める訴訟を提起したものです。

Pirfenidone は、日本において塩野義製薬が開発を行い、特定疾患に指定されている特発性肺線維症を適応症とした製造販売承認を 2008 年に取得して、「ピレスパ®錠」として販売しております。一方、EU におきましては、IM 社が申請資料の一部として当社の臨床データを用いて承認を取得し、2011 年 9 月より ESBRIET®の商品名で販売を開始しております。

当社は、pirfenidone に限らず、開発活動を通じて得られたデータについても特許その他の知的財産と同様に当社の貴重な資産と認識しており、その保護および有効活用について、今後とも適切な対応を取ってまいります。

なお、本訴訟の提起に伴う今期の業績への影響はございません。

以　上

［お問合せ先］
塩野義製薬株式会社 広報部
大阪 TEL：06-6209-7885
東京 TEL：03-3406-8164